

普及現地情報



発信年月日:令和 7 年(2025 年)12 月16日
所 属 名:東近江農産普及課
番 号:D25023
発 信 者 名:井上、近藤、西川

収穫期に向けイチゴの栽培研修会を開催！

12月5日に管内イチゴ生産者で組織する東近江地域少量土壌培地耕イチゴ栽培研究会の栽培研修会を開催し、生産者22名の出席がありました。当課からは、収穫期に向けた栽培管理と次作以降の育苗スケジュールについて説明しました。

東近江地域少量土壌培地耕イチゴ栽培研究会は管内のイチゴ生産者39戸が会員となって、技術研鑽と情報交換を目的に組織化され、当課は運営支援を行っています。

今回の研修会は、9月の定植前の研修会に続き、定植以降の生育状況の振り返りと、12月中旬からの本格的な収穫開始を踏まえ、収穫期間中の樹勢維持に向けた温湿度・養液管理や適期収穫のポイントについて説明しました。また、現地巡回で「チップバーン」や「がく枯れ」の症状が散見されることから、その発生メカニズムを説明し、養液管理や微量要素資材の葉面散布などの対策を提案しました。生産者からは具体的な資材についての質問があったほか、その対策について生産者間でも広く、積極的な情報交換が行われました。

最後に、近年、猛暑等の気象条件が影響し充実した苗の確保が困難なことから、その対策として秋苗育苗など、育苗スケジュールの前進により苗の充実を図る方法について情報提供をしたところ、特に秋苗育苗については、スクリーンをメモを取りながら熱心に見ておられました。

当課は、今後も生産者の栽培技術向上と技術研鑽、情報交換の場づくりを支援します。



栽培管理について説明の様子